

(参考) 関係者から寄せられた意見

教員等による座談会

(教室に関すること)

- ・ 教室はフレキシブルな構造になると良い。
- ・ 特別教室の学習室は、いろいろな目的で共用できると良い。
- ・ パソコン室は必要である。知的で集中する子は、データ入力などに長けている。

(作業学習に関すること)

- ・ 各務原には川崎重工、岐阜車体があるので、企業と連携して特支の子が作業する場を設けてもらってはどうか。
- ・ クッキーやピザを焼くことができると良い。
- ・ 織物のさをり織は、障がいの特性に合っており残したほうが良い。
- ・ 社会的にも、黙々と作業するよりも、にこにこ物をお届けするようなことの方が求められている。
- ・ 特殊な技能については、先生が覚えるのが大変なので、非常勤で雇うと良い。本巣では、近所の洋菓子店に指導してもらった。
- ・ 作業学習についてはしっかり考えたい。農業と絡めた喫茶は良い。
- ・ 喫茶と校舎とは背中合わせの状態で、裏で繋がっていて、うまく交流できると良い。
- ・ 農業は長期の休み中に先生が世話をする必要があるので、自校に畑があるのも良いが、農家さんに出向いて作業の手伝いをするということも考えられる。
- ・ 陶芸は教員間の技術の伝承が重要。とても難しい作業ではあるが、作業学習としては一人で最初から最後まで作れるので良い。
- ・ 陶芸はあった方が良い。できたという達成感や実際に作ったものを使えるのは良い。
- ・ 陶芸は肢体不自由の子どもでも扱いやすい。作業学習では、集中することや報告する、人に聞くという力をつけることが重要である。木工は、大型の機械を使うため、肢体不自由の子どもには難しい。
- ・ 工業は短期間の実習であれば良いが通年でやれるかは気になる。継続的に部品を供給してくれる協力企業が必要である。各務原はものづくりのイメージがあるので、企業と連携できると良い。
- ・ 販売会等を通じて喜びを感じ、その喜びを次の意欲に繋がられるようにすることが重要。
- ・ 地場産業をやっていくことが良いと思う。小学部のうちから人参を育てる等が考えられる。
- ・ 食品加工室と調理室は分けるべきである。クッキーやパンが焼けるオーブンがあると良い。
- ・ 喫茶、木工、陶芸、農業については事前に準備が必要。ほかの作業学習は、部屋が確保されていれば良い。
- ・ 畑・食品加工室・喫茶は近くに位置していると良い。

（卒業生に関すること）

- ・卒業生が来れるような施設になると良い。ふるさとのなよりどころとなると良い。卒業生用の部屋や窓口があると良い。
- ・卒業生の学びの場、余暇を過ごす場となると良い。
- ・今の各務原特支は高等部を卒業して就職してからの上司とのトラブルや、自動車免許の取得方法なども相談に乗ってもらえる。続けてほしい。

（その他の部屋に関すること）

- ・保健室とは別に、医療的ケアルームがあると良い。医療道具が入るので専用の部屋があると良い。
- ・看護師の動線を踏まえて、医療的ケアルームと保健室は繋がっていると良い。ランチルームも近いと良い。
- ・重複の教室の隣に倉庫があると良い。
- ・個別の配慮に対応できるよう自校給食が良い。
- ・**知肢病のゾーニングが重要となる。知的の子の転落事故や校外に出てしまうことは避けなければならない。**

（外構に関すること）

- ・スクールバス、放課後デイの送迎車の出入りがしやすいと良い。バスターミナルには屋根が必要となる。
- ・自転車とバスの動線に配慮が必要で、自転車の出入り口は分けたほうが良い。

（交流等に関すること）

- ・**地元の学校にも学籍を置けるようになると良い。**
- ・**部活動の交流については、ボッチャやシッティングバレーなどの競技が考えられる。**
- ・**八木山は高齢化率も高く、住民が生活に困る時期も重なってくるといことで助け合いの活動も盛んである。ヤギを飼って地域の除草の手助けをすることで、自然と人が集まるような仕組みができると良い。**
- ・**単純作業は減ってきているので、地域で人との交流の中でコミュニケーションを図る力を身に付けていかなければならない。**
- ・**交流も来てもらうのと、行くのと両面で行う必要がある。年代も幼児から高齢者まで幅広く行うことが望ましい。**
- ・**センター機能として、地域の障がいのある方の窓口、卒業生の相談・交流も重視してほしい。**
- ・**支援が途切れることなく、学校の場所が移っただけで、気軽に立ち寄れる場所であってほしい。**

手をつなぐ育成会 ママトモカフェ

（教室に関すること）

- ・教室はパーティションやカーテンなどで容易に仕切れるようになると良い。
- ・校舎の内装については、木質系にこだわりすぎると木目ガラなどに気がとられる児童生徒もいるので注意してほしい。

（その他の部屋に関すること）

- ・図書室は明るく広く開放的な造りにしてほしい。（この場所で地域交流などもできると良い。）
- ・各階、教室の近くに3畳から4畳半程度の小部屋を設けてほしい。（感情が高ぶった児童生徒を落ち着かせるための部屋）
- ・教材などの物品を収納する部屋を教室の近くに設けてほしい。
- ・クールダウンさせるための部屋を充実させてほしい。保健室は病院のイメージがあり怖がる子どももいる。ちゃんとリラックスできる部屋、景色の良い部屋など部屋のあり方についても十分検討してほしい
- ・気を落ち着かせるためのスペースは小中高それぞれの学部毎に、かつ、各フロアーにリラックススペースとして設けると良い。リラックスのための専用室を設けなくても、廊下の一部にリラックスコーナーみたいにスペースを確保する。

（外構に関すること）

- ・スクールバスは朝の登校時に利用するが、放課後は放課後デイサービスの事業所からお迎えの車が来るので、駐車スペースの配置計画には十分注意してほしい。
- ・車の出入りに関しては、警備員（誘導員）などの配置が望ましい。
- ・送迎時に雨が降っている時でも濡れずに乗り降りできる配慮（車寄せ部分に屋根をかけるなど）をしてほしい。
- ・スクールバスの運転手は用務員を兼ねた正規採用職員が望ましい。（急な送迎等に対応できるから。）

（その他）

- ・建物の外観（特に色）や貯水タンクなどの大きく目立つ施設などは、周囲の景観に配慮してほしい。
- ・給食は給食センターからの配給でなく、学校内で調理して出してほしい。また、子どもたちが調理の状況を見られる（ガラス張りにするとか、のぞき窓を設けるとか。）ようにしてほしい。
- ・将来の増築にも配慮した設計にしてほしい。（状況の変化に柔軟に対応してほしい。）
- ・建物内部については、とにかく角（カド）を無くしてほしい。（ぶつかってケガをするから。）
- ・設計には私たち（保護者などの関係者）の意見をできる限り取り入れてほしい。また、ちゃんと私たちの意見が取り入れられていることが実感できるような配慮をしてほしい。
- ・学校的设计だけでなく、学校そのものの運営方針などについても私たちの意見が言えると良い。

- ・新しくできる特別支援学校の名前（学校名称）やマーク（校章）は市民の意見をしっかりと聞いて決めてほしい。特に今の各務原特別支援学校の卒業生（同窓会メンバー）は意見を聞いてもらいたい。

- ・学校の設計や運営について、子どもたちにも意見を聞いてほしい。（子どもの気持ちも何らかの形で取り入れてほしい。）

- ・トイレの便座について、温水洗浄暖房便座（通称：ウォシュレット）は誤った使い方をする子どもや、作動音そのものに恐怖を感じる子どもがいることから、設置の可否を慎重に判断してほしい。

- ・トイレに限らず、ボタンスイッチなどは子どもが操作したがる傾向にある。十分配慮してほしい。とにかくシンプルな内装が良い。

- ・医療的ケアに十分配慮してほしい。学校と医療機関との連携を密にしてほしい。スタッフ体制もしっかり整えてほしい。

特別支援学校設立において マザーズデイ アンケート集計結果

◇ → 新たに書き込まれた要望等の記号

- ◆ ST・OT・PTの学校内での個人指導設置。
- ◆ 小学生からのパソコン・タブレットを使用した授業強化
情報処理など学ばせたい。
- ◆ 小学生から部活・クラブ活動(スポーツ・趣味)の選択肢を広げてほしい。
- ◆ 調理・製菓などの専門職を学べる環境を作り、喫茶スペースの設置。
ショーウィンドウやショーケースで学生たちの作品や菓子等の販売。
卒業後定期的に集まれる場所として利用できるとよい。
地域交流の場としても利用できるとよい。
- ◆ 子供たちが個性に応じ様々な社会勉強を経験し、自立に向けて選択できるカリキュラム作り。
- ◆ 自己肯定感を育めるように、指導・支援をしてほしい。

- ◆ 放課後デイの校内での設置
仕事を持つ保護者に負担がかからず両立できるようにしてほしい。
もしくは
民間事業と密接な連携がとれている環境。

- ◆ 子供たちが、安心・安全に通える、明るく楽しい学校。
- ◆ 学校全体の生徒たちが関わり合い成長していける学校。
- ◆ 学習面・生活面・心理面・情緒面を考慮し、個々がのびやかに成長できるような環境。
施設充実・人員配置など
- ◆ 地域交流を通し学び、支えあえる環境を作り。
◇ 市内の小中学校との交流。(小中学生に障害を理解してもらえるように)
- ◆ 病院との連携がしっかりとできている環境。
- ◆ 校舎内が明るく、花壇などの設置。

- ◆ 自宅近くまで送迎バスが利用できるなど登校しやすい環境。
悪天候でも登下校が安心できる玄関や駐車場。

- ◆ 学校が設立されたら、転入を希望したい。
スムーズな対応をお願いします。

- ◆ 保護者が成長した子供とどう接するべきか。など勉強をする場を設けてほしい。
卒業後、成人した子にどう接するべきかわからない保護者を多くみました。

- ◆ 保健室の充実
- ◆ 酸素器の導入
- ◆ 車椅子での階移動

- ◆ 病弱の子供達でも通える制度

社会性を身につけられるよう子供同士がかかわれる学校を希望したいが、酸素器を理由に断られるので、ひとりひとりに柔軟に対応してほしい。

- ◇ 代謝疾患の子供を受け入れてほしい。(食事の分量を量ってほしいなどのケアが必要)
- ◇ 胃ろうからの注入ケアを希望。
- ◇ 低たんぱく米の提供もしくは持ち込みを可能。

- ◇ 学校の設立される地域で設立されてよかったと地域の方に思ってもらえるような場所になってほしい。

- ◇ 貴重な話を聞いて良かった。
- ◇ 今後もこのような説明や質問等ができる機会を作してほしい。
- ◇ このアンケートへの返答が欲しいです。